

1-2 B-27地点とB-58、S-20及びS-3地点の土層を同じとしていますが、土質は異なりませんか、土質が異なれば、強度も異なりませんか

2019年3月の国会衆議院予算委員会において、政府は「B-27 地点の土層と B-58 地点、S-20 地点及び S-3 地点の土層が同じ」と述べています。3地点は辺野古川河口沖の谷に沿って配列しています。音波探査等でB-27地点と他の3地点の深部の地層が同じ土層に区分されているとしても、土層が同じというだけでは、土質が異なる3地点の力学的強度からB-27 地点の強度を推定するには根拠が不明確です。

まず、土質の違いについて述べます。B-58地点、S-20 地点、S-3 地点及び B-27 地点の Avf-c 層と Avf-c2 層について、それらの粒径を三角座標上にプロットすると図-2、3 になります。Avf-c 層ではS-2 地点も含めてほぼ一塊になっていますが、Avf-c2 層は広い範囲に分布しています。すなわち、

- ・ 上流の B-58 地点から下流のB-27 地点に向かって粒度が小さくなる傾向がみられる
- ・ 粘土に区分されるのは、S-3 地点の 2 試料とS-20 地点の 2 試料の 4 試料のみである、
- ・ B-58 地点、S-20 地点、S-3 地点の全 13 試料中の 9 試料は粘土に分類されない
- ・ B-27 地点から 750m 離れているB-58 地点には粘土に区分される試料は無い、
- ・ S-20 地点の 2 試料は砂質ローム(“細粒分質砂”)である

Avf-c2 層は同じ土層であっても、土質が異なるのではありませんか。土質が異なれば、強度も異なると考えるのは誤りですか。

この土質区分の結果からは B-58 地点、S-20 地点及び S-3 地点の地盤強度から B-27 地点の強度を推定することはできないと考えますが、いかがですか。推定できるとする理由をお示し下さい。

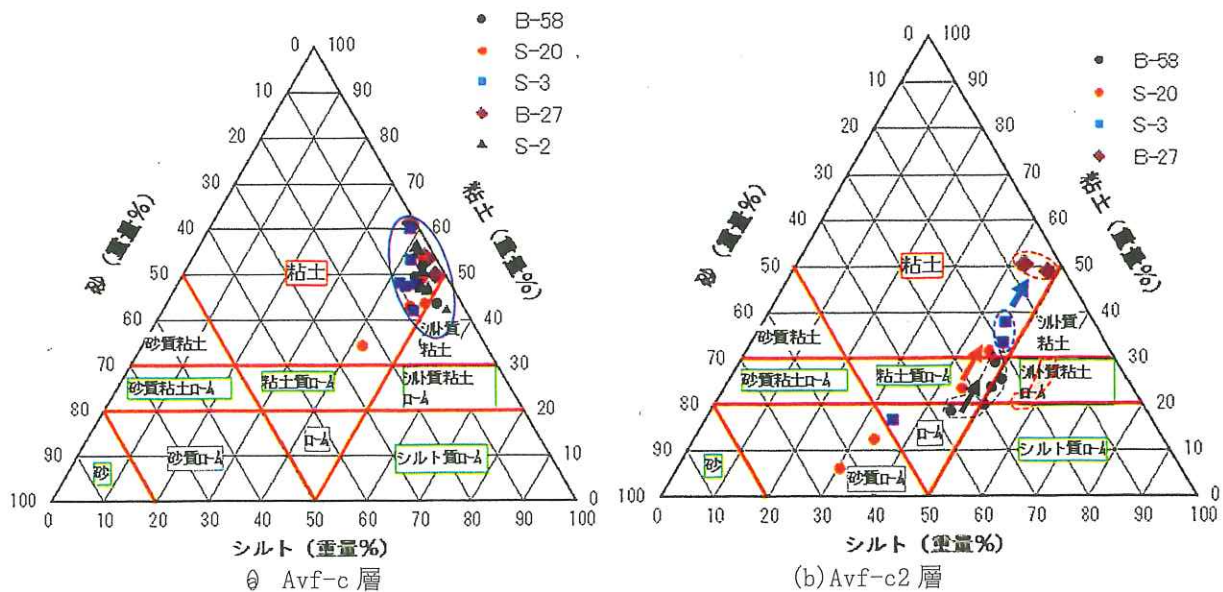


図-2 三角座標による Avf-c 層と Avf-c2 層の土質分類
(分類方法の出典：ザ・ソイル [Ⅲ] (建築技術))

(出典) 資料4 沖縄辺野古調査団「普天間飛行場代替施設としての辺野古埋め立て工事に関する